

泉の自治だより

題字 矢島成剛 県議

No. 80

発行所 泉町連合区
 発行責任者 連合区会長 和田全弘
 事務局 (泉公民館内)
 土岐市泉中寮町 TEL 55-3653
 編集部長 垣見 紘 一



木彩会
 ボインセチア
 田中美恵子

今年を振り返って

岐阜県議会議員 矢島 成剛

今年も残り僅かとなりました。皆様にとっての一年はどんな年でありましたでしょうか。岐阜県にとっては前代未聞の事件が相次ぎ、県政史上最悪の年となってしまいました。県職員の裏金問題を筆頭に、中津川の中学女子生徒死亡事件、瑞浪の女子中学生いじめ自殺事件等が重なりました。裏金問題につきましては、あつてはならないことが起きていたことに驚愕し、県議会としてまず全容の解明をさせ、次に責任者の処罰・処分をして全額の返還と再発防止策を講じさせたところでありました。(図参照)

十年以上前のこととは云え腐りきった組織の体質があったことを深く謝罪しお詫びいたします。さて、泉町にしばって地元住民の頭を悩ませてまいりました石原産業の土壌埋め戻し材(フェロシルト)の全量撤去が7月末で終わりました。埋め立てが始まって以来いち早くこの問題に取り組みたり、土砂がどこから運ばれて来るのかを調査された地元市議をはじめ各年度の自治会役員の方々のご協力で心より感謝申し上げます。

この事件は当初より不法な埋め立てではないかと思われ、行政に対し何とかしてほしいとの声が届けられていたのに直接埋め立てを取り締まる法律が無かった為行政が後手後手に回ったという事実がありました。このことを教訓に県では、今年埋め立てそのものを規制する条例を制定し、九月県議会にて可決されました。内容は有害物質の埋め立ての禁止や行政の担当者が容易に埋立地へ立ち入ったり、調査のための土砂採取ができるといったもので、一定面積(三千平米)以上は許可制となりました。もし今後、泉町はもとより周辺の地域で不法と思われる土砂等の埋め立てを発見された場合にはぜひとも一報をお願いいたします。(県環境課 三三一一二一)



植林のため復旧工事中泉町定林寺現場

岐阜県裏金調査結果

平成4年	不明	11年	558万円
5年	不明	12年	12万円
6年	4億6,600万円	13年	0円
7年	2億4,377万円	14年	5万円
8年	6,940万円	15年	1万円
9年	1,277万円	16年	0円
10年	689万円		

処分

懲戒免職	7人
停職	10人
減給	335人
戒告	569人
訓告	1,614人
厳重注意	1,822人

返還金 19億1,775万円 (不明の年を推定し、利息を含む)

職員組合等より	4億7,000万円	全額返還済み
現職管理職より	5億8,000万円	全額返還済み
管理職OB(8人)より	8,700万円	返還済み
管理職OB(1,410人)	7億8,000万円	未返還(本年度中に返還予定)



祝 敬老会 泉地区



祝 敬老会 泉地区

敬老の日に長年にわたり社会に貢献された方を敬うと言う事で泉町敬老会が開かれ、一年を通じて女性部の活動として大きな行事です。六月頃から連合区、市役所福祉課の皆様のご協力を得て準備を致しました。高齢化に伴い対象者は八十才以上の方で、今年度泉町で一〇四九名です。その内九十才で卒寿の祝いを迎えられる方が五十名いらっしゃいました。おめでとうございます。招待状を各地区女性部員の皆さんに配付をお願いし、出欠を確認してもらい、その結果三三八名の方が出席、内九十才の方は十

六名出席して下さる事になりました。当日は、前日からの雨と台風も接近している天気予報でしたので中止になる可能性もあつてすぐ心配をしましたが式典が始まる頃には雨も上がり太陽が顔を覗かした。本当によかったです。皆さんお元気でおしゃれをして参加されました。特に女性の方はすごく素敵でした。年をかさねてもおしゃれをする事は気分も若返りいつまでも元気で過ごせるような気がしました。式典では、参加者に記念品を贈呈。九十才卒寿の祝には市長さん直筆の色紙が

めるとはつきりしたことが言えませんが、県として土岐市が国から「町づくり交付金」を受けて、土岐市駅から西の路切りまでの間を整備したあと、残りの305メートルを新規事業として取り組むことを既に約束しており、私は市の積極的な取り組みを望んでいます。皆様どうぞ良いお年をお迎えください。

一人一人に渡され、皆さん嬉しそうでした。式典後アトラクションで土岐少年少女合唱団、ゆきこま会、赤堀流弥生会、ストレッツ同好会、太鼓喜楽の皆様に出演していただき、食事をしながら観覧し、合唱団の歌ではなつかしい童謡があり口ずさんでいる方もみえて会場内が和やかにになりました。

終了後参加者の皆様にとれとなく感想を伺いましたら、楽しかった、よかったですと言った意見が聞きました。今まで色々と準備をして来て大変でしたが、その言葉で、主催者側として、とてもうれしかったです。「ほっと」しました。事故もトラブルもなく無事に敬老会を終る事が出来ました。泉町の市民の皆様や関係者の方々のご協力のおかげと感謝申し上げます。ありがとうございました。

・平成18年度泉町連合区会計監査
 ・平成18年度・第2回泉町連合区総会・お別れ会
 ・新旧役員顔合わせ・引継ぎ会
 ・泉の自治だより編集部員引継ぎ会

敬老会を終えて

泉町連合区女性部長 佐賀 仁美

敬老の日に長年にわたり社会に貢献された方を敬うと言う事で泉町敬老会が開かれ、一年を通じて女性部の活動として大きな行事です。六月頃から連合区、市役所福祉課の皆様のご協力を得て準備を致しました。高齢化に伴い対象者は八十才以上の方で、今年度泉町で一〇四九名です。その内九十才で卒寿の祝いを迎えられる方が五十名いらっしゃいました。おめでとうございます。招待状を各地区女性部員の皆さんに配付をお願いし、出欠を確認してもらい、その結果三三八名の方が出席、内九十才の方は十

六名出席して下さる事になりました。当日は、前日からの雨と台風も接近している天気予報でしたので中止になる可能性もあつてすぐ心配をしましたが式典が始まる頃には雨も上がり太陽が顔を覗かした。本当によかったです。皆さんお元気でおしゃれをして参加されました。特に女性の方はすごく素敵でした。年をかさねてもおしゃれをする事は気分も若返りいつまでも元気で過ごせるような気がしました。式典では、参加者に記念品を贈呈。九十才卒寿の祝には市長さん直筆の色紙が

めるとはつきりしたことが言えませんが、県として土岐市が国から「町づくり交付金」を受けて、土岐市駅から西の路切りまでの間を整備したあと、残りの305メートルを新規事業として取り組むことを既に約束しており、私は市の積極的な取り組みを望んでいます。皆様どうぞ良いお年をお迎えください。

・平成18年度泉町連合区会計監査
 ・平成18年度・第2回泉町連合区総会・お別れ会
 ・新旧役員顔合わせ・引継ぎ会
 ・泉の自治だより編集部員引継ぎ会

行事予定

- 12/28 30
- ・消防団泉分団・年末夜警激励
- 1/1 泉町新年歩け歩け大会
- 7 土岐市消防団出初め式
- 9 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 10 泉町連合区三役会
- 20 泉町連合区定例会
- 2/5 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 13 泉町連合区三役会
- 17 泉町連合区定例会
- ・第四回県・市議会議員と連合区の協議会
- 3/5 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
- 13 泉町連合区三役会
- 17 泉町連合区定例会
- ・土岐市連合自治会連絡協議会・お別れ会
- ・女性部新旧顔合わせ
- ・引継ぎ会
- ・平成18年度泉町連合区会計監査
- ・平成18年度・第2回泉町連合区総会・お別れ会
- ・新旧役員顔合わせ・引継ぎ会
- ・泉の自治だより編集部員引継ぎ会



泉のボランティア紹介

土岐手話サークル竹の子

会長 土本 貴司



土岐手話サークル竹の子は「手話を学びサークル活動をつうじ、ろうあ者への理解を深めるとともに、より多くの人々にこれを広める。また良き仲間として、ろうあ者の生活と権利を守り、差別のない社会を築く」事を目的として昭和四十九年九月に創立されました。その当時は「手話」といっても「しゅわ、何、それ？」という具合で全く理解されず、聴覚障害者も別の世界に住む人のように見られていたと思えます。

駅前などでチラシを配り、フタを開けてみると来た人数は三人。発起人の二人との五人でスタート。教本も無く、手書きのイラスト。試行錯誤の繰り返しをしながらも続けて

いると、いつかそこが聴覚障害者の溜り場となりました。それとあわせてその頃はまだフックスも機も開発されておらず、電話、自動車も使えない聴覚障害者は、用があるとな紙が直接会うしか方法がなかったのです。そんな訳で岐阜県下で二番目にできた「手話サークル竹の子」の会場が、聴覚障害者の連絡場所、交流場所となり、土岐市以外から大勢の人が出入りするようになりました。

サークル会員にとって身近に見る聴覚障害者の生き生きとした手話の魅力、学んで知った手話語源の面白さ。口から口へ会員はどんどん増えていきました。

手話を教える聴覚障害者、習う健常者、だんだん

緑綬褒章
(緑綬褒章は、戦前において、徳行が卓絶な者、実業に精励し民衆の模範たるべき人物に与えられた)戦後、緑綬褒章の示す道徳的な価値が新憲法施行以降の社会と合わないためか、昭和二十七年以降は候補者の推薦自体がなくなっていた。以後半世紀も停止状態にあったが、平成十五年秋より復活し、「ボランティア活動に功績にある者」に授けることとなりました。

活動時間と場所
場所 (毎週金曜日)
場所 泉公民館
時間 10時～11時半

夜の部 (毎週木曜日)
場所 セラトピア土岐
時間 19時半～21時

土岐手話サークル竹の子は名前のとおり、これからもどんどん伸びていきます。



高齢者おたのしみ

代表 加藤 清司

大徳町の高齢者おたのしみは、平成十三年十月に発足し満五年になりました。高齢化社会の進行に伴い、家に閉じこもりがちな高齢者、運動不足、社会的孤立感の解消等に地域でなげ出来るから試行錯誤を繰り返しながら運営委員、ボランティアの善意と熱意に支えられて軌道に乗り定着しています。

参加する高齢者も楽しい行事となつて来ています。現況を報告しそれぞれの地域の参考になれば幸いです。

○会員 町内に住む七十五才以上で、原則自力で通所できる人、現在十九名 (女性十七名、男性二名)

○運営委員会 民生委員・町内会長経験者 (平成十三年以降)、現町内会長・女性部班長合計八名

○ボランティアの会
月曜組 (女性八名・男性三名) 計十一名
木曜組 (女性六名・男性四名) 計十名

○開催日 第二木曜日・第四木曜日
○時間帯 十一時三十分から十三時三十分を基本としています。

○場所 大徳町集会所



泉の丘をなぞるサロンの
代表 中村美智子

少子高齢化が叫ばれ、この泉が丘町も例外でなくこの傾向が強くなっています。

土岐市では、敬老会の参加人数を八十才に引き上げて実施している、それだけ高齢者が多いところ。それに加えて世界一の長寿国の日本では平均年齢が女八十五才男七十九才といわれている。このような長寿社会にあつて、高齢者はどうあるべきかを真剣に考えさせられます。

ややもすると、家に閉じ籠もりがちで人に逢うのも、外出もしないといった孤独な生活とならざるを得ません。

私達の住むこの団地は昭和五十年代初めに宅地造成され現在にいたつており、子供達の歓声があちらこちらから溢れる時代は去り、活気溢れる町がたまたま続くとは信じがたく、世の中の流れがそのままにこの団地も高齢化を迎えています。

この地を故郷と求めてきた泉が丘住民がいつまでも元気で安心して住み続けられるよう、お互いが助け合う、よりどころがほしいという願いから「ふれあいサロン」を立ち上げるために泉が丘連合町内会、同民生委員、同長寿クラブ等の協力を得てここに平成十四年十月に「ふれあいサロン」が誕生しました。

有意義に取り組んでいきます。高齢者の環境はより厳しくなつて来ています。長寿は健康であつてこそ意義があります。支える者と支えられる者の社会の充実を。

○会費 一回 五百円 (内運営費百円)
※運営委員・ボランティアも負担。
○参加人員は毎回三十名から三十三名
○食事・雑談を通して友情が深まつて来ています。後半の一時間はその都度

実施方法としては、毎月第一木曜日として、利用者及びボランティア共に毎回五百円の運営費を負担する。利用者は七十五才以上として会場まで自力でこられる人を対象としてボランティア十九名で運営を計ります。

クリスマス、お正月、ヒナ祭り等の季節的の伝統的な行事を重視してこの外に踊り、音楽療法、体操等を毎回楽しく実施をしています。

平成18年度 事業報告

- 9/29 県・市議会議員と連合会の協議会
 - 10/2 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 5 第二回県・市議会議員と連合会の協議会
 - 8 泉町民運動会
 - 10 泉町連合区三役会
 - 19 土岐市連合自治会連絡協議会・研修旅行
 - 20 泉町連合区三役会
 - 21 泉町連合区定例会
 - 21 助成団体代表者会議
 - 22 泉町戦没者慰霊祭
 - 24 泉町連合区臨時会
 - 26 18年度・泉町連合区要望書提出
 - 11/6 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 14 泉町連合区三役会
 - 18 泉町連合区定例会
 - 19 泉公民館まつり
 - 12/4 土岐市連合自治会連絡協議会・理事会
 - 12 泉町連合区三役会
 - 16 泉町連合区定例会
- 通年駅周辺パトロールの実施
- 平成19年1月1日
泉町新年歩け歩け大会
10時土岐市駅スタート
詳細は別紙